

Round 5

TT 10位 予選 12位 決勝 15位

35台のエントリーがあったため予選落ちが発生する今大会。7月末の御殿場は時間帯によるコンディション変化が大きくスピードが安定しないという問題があった中、TTではきっちりとタイムを出し10位に付けた。

グループ分けされた予選はオープニングラップでプッシングされ一時は最後尾までドロップするも、ファステストに近いタイムで周回を重ねラバルを追い抜いていく。グループ6位、総合12位でヒートを終えた。

決勝は上昇した路面温度に対しマシンセットが若干外れてしまった。中団からのスタートによりレース序盤では順位を落としてしまうが、持ち前のスピードでマシンをカバーし、一つずつ着実に順位を取り戻していく。結果15位を獲得したが、ペースの上まらない状況には課題が残された。

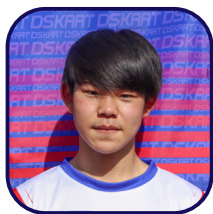


Round 6

予選 29位 決勝 10位

1台リタイヤが発生し、予選から34台フルグリッドでのレースが行われる。スタート直後の大混乱によりマシントラブルが発生、ペースが上らず徐々に順位を下げていく。ここで焦りが生じてしまったこともあり、終盤の他車との接触によりリタイヤ、29位となった。

決勝はマシンセットアップの最適化によりレースペースが回復。以前からの課題であった序盤のペース不足も克服したことで、ほぼ最後尾からのスタートでありながら中盤までにライバルの過半数をパッシングするスピードとバトル強さを見せた。後半ではペースが若干落ちてしまったものの周回と遜色ないラップタイムを維持、結果19台抜きとなる10位を獲得した。



佐藤凌音 (ドライバー) Sato Ryoto

自分のメンタルや周囲の状況把握に課題が残ったレースになりました。路面の変化に対応しきれず、焦りから無駄なリスクを冒してしまいました。チームは着実なレベルアップをしており、自分のミスで目標の結果を残せなかったことが悔やまれます。一からの見直しを行い、最高の状況で次戦に挑みたいです。



佐藤奨二 (チーム代表) Sato Shoji

好調が発揮できた時のスピードに対して、最低限の結果すら残せなかったことがもったいなかったです。この週末はコンディション変化が大きく、各状況におけるマシンの調子の善し悪しがハッキリしすぎていました。車両を含め本調子ではなかった原因をしっかりと分析して、次戦に繋げていきます。